



若き夕陽会員からの力強いエール

夕陽

函館市支部会報

発行所
夕陽会 函館市支部
函館市立駒場小学校
印刷/株島本印刷



節目の年をひかえて

夕陽会函館市支部 支部長 宇佐美 雅 司 (昭和五十八年卒)

四月九日の函館支部総会により、夕陽会函館支部の支部長という大役を仰せつかりました。これまでの函館支部の活動の経過や置かれていた立場を考えてみたとき、その責任の重さをひしひしと感じているところです。私自身にとりましては、大変荷が重すぎるというのが正直なところです。幸いにも、経験豊富な副支部長をはじめ役員の皆様方を選出して頂きました。更には、業務にその堅実さを遺憾なく発揮してくれる近江幹事長とその幹事長を支える駒場小学校の会員に支えられ、何とか職務に臨んでいるところです。そして何にもまして支部の運営に関して何かと相談に乗って頂ける支部顧問の皆様方に心から感謝しております。改めて支部会員の皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

さて、支部会員の皆様もすでにご存じのことと思いますが、夕陽会は来年「創立百周年」という大きな節目の年を迎えることとなります。大正七年の会創立以来、これまで数多くの人材を輩出してきた伝統ある同窓会の紀寿のお祝いの年です。そのため本部が中心となって「北海道教育大学夕陽会 創立百周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、「平成三十年六月二十三日(土) 於ホテル函館ロイヤル、翌二十四日(日) 於母校函館ロイヤル」の各事業・行事の開催に向けて着々とその準備を進めているところです。支部会員の皆様にも記念事業、記念行事に対して積極的にご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

現在、母校である北海道教育大学函館

校は、教職員は言うに及ばず、公務員、多様な民間企業へと多くの卒業生を輩出しています。今春、母校の入学試験の合格発表がテレビ中継されているのをたまたま目にする機会がありました。合格してインタビューを受けていた受験生は、将来の夢を問われて満面の笑みを浮かべ、「立派な警察官になることです。」と答えていました。理解していたことではありませんが、多様な職種に就いている卒業生を迎え入れる同窓会の組織作りの必要性を改めて感じさせられました。函館支部としても夕陽会の新たな一世紀の始まりを良い機会ととらえ、教育に対する実績と伝統を重んじつつも同窓会自体の裾野を広げる手立てを講じていきたいと考えております。

来年にひかえた夕陽会創立百周年記念事業の中で、函館支部は記念祝賀会の企画と運営を担当させて頂くこととなりました。祝賀会には、本部のお力添えを頂き現役の学生にも多数参加してもらう予定です。将来の夕陽会員に夕陽会の良さを知って頂き、年齢を超えて同窓の絆を深めて頂く準備を進めております。支部会員の皆様方、特に若い会員の皆様には、その時期に同期会を企画し、当地はもとより全道・全国で活躍しているいろいろな職種のお客生の参加をぜひ呼びかけて頂きたいと思っております。

来年の「節目の日」には、年齢の別なく、職業の別なく、同窓という仲間意識のもと多くの会員が楽しく集える会を目指して努力してまいります。ご支援とご協力を宜しくお願いします。

子供の確かな成長の足跡を



函館市立
鍛神小学校長
新山 亨
(昭和六十一年卒)

「おはようございます。」
朝、校門近くで子供たちを迎えていると、元氣な挨拶が聞こえてきます。一日の始まりに子供たちから大きな元氣をもたらしています。

五年ぶりとなる鍛神小学校勤務、その間、学校の様子も大きく変わりました。学校力向上推進事業近隣協力校としての実践もあり、分掌業務の整理統合、学力向上や特別支援教育等の組織的な取組の強化等、学校改善の足跡がたくさん見取れます。

その実績をもとにさらに学校力を高め

信頼される学校づくりを目指して



函館市立
尾札部中学校長
笠島 美教
(昭和六十年卒)

本校は、函館市東部の旧南茅部町に位置し今年で開校六十九年を迎えます。

資源豊富な自然に囲まれ、南茅部縄文遺跡等の重要な文化財にも恵まれ、今も世界で活躍する卓球の佐藤瞳さんなどを排出した卓球部や強豪校としてその名を馳せた女子バスケット部を有した学校でもあります。

四月、緊張感いっぱい本校に赴任した私ですが、新年度準備に奔走する教職員の高熱とした姿や、元氣な挨拶とともに、笑顔溢れる子ども達の姿に、改めて

ていかなくはなりません。

また、本校は明治十三年に開校された百三十六年の歴史と伝統のある学校です。校長室に掲げられているずらりと並んだ校長先生方の写真からも、力強いリーダーシップのもと、創意ある教育活動を推進し、保護者、地域住民が一体となった「地域の学校」として歩みを続けてきた鍛神の伝統を窺い知ることができました。奇しくも百三十周年の記念の年に教頭として学校運営に携わった私としては、その歴史と伝統の重さに押し潰されそうになりながらも、次へしっかりと引き継いでいかなければならない重責を真摯に受け止め、子供の確かな成長の足跡を校舎に残していきたいと決意を新たにしています。

夕陽会の皆様には、これまで同様にご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新たな気持ちで

学校経営への夢と希望を感じずにはいられませんでした。

本校の教育目標「高め、広げ、活かす」のもと「豊かな心をもち確かな学力を身につけた生徒の育成」を重点目標に掲げ日々の教育活動を展開しております。

春、大先輩の元校長先生より「大いなる夢と希望、感性とロマンあふれる学校づくり」を期待していますとのお言葉をいただきました。

未来に生きる生徒たちに夢とロマンを大いに語り、時代を生き抜く力が備わる教育活動をぶれることなく推進していく決意です。

今後もこれまで同様夕陽会の皆様のご指導ご鞭撻を賜り、微力ですが函館市の教育の充実・発展に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

人間のよさを感じる学校に



函館市立
本通中学校教頭
小田桐 智
(平成三年卒)

中央玄関に学校教育目標が掲げられています。「世界の風となれ」くさわやかにしなやかに あざやかにこの目標には広い視野や多様な価値観をもち、共生の心でよりよい人生や社会の形成に向けて行動できる生徒を育成する、という考えが込められています。

開校して四十二年目を迎える本校は様々な歴史を辿ってきました。教頭として、その重みを受け止めて仕事をしたいかなければならないと感じています。本校では校長の理念と方針のもと「ルールの徹底と人間的なふれあい」が進められています。様々な背景を抱える

成長



函館市立
五稜郭中学校教頭
佐藤 雅士
(平成三年卒)

この度の移動により、函館市立五稜郭中学校の教頭として赴任いたしました。

本校は昨年度、大川中学校、五稜中学校、桐花中学校の三校が統合し開校しました。

学校名の「五稜郭中学校」には、将来函館だけではなく、全道・全国で活躍する卒業生がプライドをもって、しかも出身地が明確にわかるオンリーワンの校名であるということ、またいつまでもふるさと函館を大切に思い、愛着と誇りを再

生徒たちと学校文化を創っていく上で「人間つていいなあ」という感覚を覚えさせることが学校の肝であると捉え、温かさや厳しさのある生徒指導を実践しています。生徒もその指導に応え、生徒会立案の「思いやり・協力・安心」をスローガンに本通中学校の魅力を高めることに懸命になっています。「全校仲良し大作戦」はほのぼのとしていて心が温まります。また、六百名を超える全校ヨサイや凜とした空気の全校集会の様子は圧巻です。素敵な生徒です。

毛利繁和校長には中学生の時に授業を受け持たれ、熱意あふれる指導をしていただき、年を経ても変わらず、今もあたたかい指導を受けられることが幸せです。また、人間性や協調性、指導力が優れた教職員に囲まれて教頭職をスタートできたことはたいへん幸運なことと喜んでいます。

これからは研鑽を積み、いささかでも職責を果たせるよう努力してまいります。今後とも、夕陽会の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

認識できること、そしてさらには学校が未永く発展して欲しいという願ひが込められています。

開校して一年半、様々な試行錯誤を繰り返しながらも、校訓である「英知・誠心」、生活スローガン「二五一得」のもと、生徒にとつて温かな人間関係を築くことができる学校、生徒たちが自らの手で五稜郭中学校の歴史を一から創り上げていくことができる学校を目指し、取り組んでいます。

自分も「教頭職」ゼロからのスタートとしてたくさんのお話を吸収し、常に進化し続ける学校を目指し、子どもたちの成長を通して保護者・地域から信頼される学校を目指していく所存です。

日頃、大変お世話になっております夕陽会の皆様、ご指導ご鞭撻を今後とも賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新 会 員 に な っ て

新会員になって



函館市立
本通中学校
大山 修一
(平成二十四年卒)

平成二十四年に北海道教育大学函館校を卒業後、北海道教育大学大学院教育学研究科を修了し、三年間の期限付きを経て、この春、本通中学校に着任致しました。大学在学時よりお世話になった函館の地で、中学時代からの憧れだった教員として働けることに喜びを感じながら日々を過ごしています。

現在は、三年生三十九人の担任として、忙しくも充実した毎日を送っています。担任としての日々は、とても新鮮で子どもたちから学ぶことは数え切れないほどにあります。一方で、困難にぶつかることも数多くあります。教員となり四年目の今でも、教科指導に悩む毎日です。子どもたちが目を輝かせるような教材、はつとなるような発問、いくら考え、そして調べてみても納得のいく授業は完成しません。

同時に、今年から任せられた学級経営や生徒指導でも悩みは尽きませんが、夕陽会の先生をはじめとした同僚の先生方のご指導やご助言に助けられています。課題は山積みですが、決して教師本意ではなく、すべては子どもたちの未来のために、これからも尽力していきたいと思っています。

最後になりますが、夕陽会の先輩方の皆様には今後ともお世話になることと思います。まだまだ未熟者ではありますが、今後とも変わらぬご指導・鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願致します。

新会員になって



函館市立
柏野小学校
八重樫大輔
(平成二十七年卒)

平成二十七年三月に北海道教育大学函館校を卒業してから、期限付き教諭を経験し、この度函館市立柏野小学校で勤務しております。かねてより夢であった教員という職業に就くことができ、この上ない喜びを感じております。これも、採用されるまでに応援してくださった、方々ご支援があったからだと感じております。喜びと同時に、この職責の重さを日々感じながら過ごしております。

採用以前は、期限付き教諭として、理科専科、特別支援学級担任を任せられました。その中で、私が印象に残っていることは、学校チームとして取り組んだ、特別支援学級の担任を経験したことでした。日々初めての経験で、どのように指導していけばよいか悩み、壁にぶつかる日々でした。児童理解、学習指導、始めて知る自立活動や生活単元学習など、管理職の先生方や同じ特別支援担当の先生方と協力して、一年間過ごすことができたと感じています。一人では困難なことも、チームとして協力して課題に取り組むことの大切さを学びました。現在も先輩の先生方と、協力して教育課題に取り組んでいます。

これからの時代を担っていく子どもの育成という、大きな責任に希望と夢を膨らませながら日々精進して参ります。これからも、ご指導・鞭撻の程をよろしくお願致します。

子どもたちの成長のために



函館市立
赤川中学校
藤原涼太郎
(平成二十九年卒)

平成二十九年三月に北海道教育大学函館校を卒業し、この春から函館市立赤川中学校に着任しました。大学四年間でお世話になったこの函館の地で、子どもたちの成長に直に触れながら教員として働けることをとても嬉しく思います。

私は教員になって常に考え続けていることがあります。それは今の自分が何を子どもたちに伝えられるのかということです。まわりの先生方を見れば素晴らしい先生ばかりで、授業、生徒指導、何においても敵わないことばかりです。ただ、他の先生方にはない、自分にしかできないことが必ずあると考えています。それが一緒に部活で汗を流すこと、教師と生徒という一線を引きながらも年が近いことで生まれる生徒との関わり、共感できる気持ち。そうした自分ならではの関わりの中で子どもたちに伝えられるものは、教員として、自分の武器になり、他の教員の実践を真似することよりはるかに子どもたちの成長を促すことができると思います。現在も子どもたちと関わる中で前述のことを実践するなかで、たまたま実感する生徒の成長や変化、信頼関係が築けそうな瞬間、これが教員をやる原動力となり、喜びでもあります。こうした瞬間を多く経験できるようにこれからも研鑽を積んでいきたいと思っています。

また、まだまだ未熟ではありますが、自分の何かをもつてこれからの教員人生を歩んで生きたいと思っています。

函館市支部
新会員・転入会 幹事懇親会



小山内武弘支部顧問より励ましの言葉



藤川 隆会長のご挨拶



母校開学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」の精神を確かめ、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。
あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。

- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。
- 二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

● 支部役員・業務内容

一、支部役員

役員	氏名	卒業年次	所屬
支部長	宇佐美雅司	58年卒	函館市立駒場小学校
副支部長	松田賢治	60年卒	函館市立潮見中学校
監査	寺本公彦	62年卒	函館市教育委員会
幹事長	田上直広	62年卒	函館市立亀田中学校
副幹事長	田湯義浩	62年卒	函館市立北美原小学校
副幹事長	近江辰仁	63年卒	函館市立駒場小学校
副幹事長	大室文子	平元年卒	函館市立八幡小学校
副幹事長	佐山秀一	60年卒	函館市立駒場小学校

○ 顧問

氏名	卒業年次
川島孝夫	31年卒
藤谷利春	32年卒
板東忠康	33年卒
池上信廣	37年卒
齊藤正宏	39年卒
寺岡昭治	42年卒
小山内武弘	42年卒
伊藤皓嗣	44年卒
三島俊博	47年卒
碓幸信	49年卒
青木昌史	53年卒
三島千春	54年卒
風間和夫	57年卒
毛利繁和	55年卒
山田幸俊	56年卒

二、主な業務内容

- 一、支部総会
- 二、受賞祝賀会
- 三、支部会報の発行(九月・三月)
- 四、新会員・転入会員・幹事懇親会
- 五、役員会、顧問会
- 六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)
- 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
- 八、特別業務
 - 結婚会員へのご祝儀・祝電
 - 逝去会員へのご香典・弔電
 - 受賞会員、昇任会員への祝電

平成28年度 一般会計決算書

項目	28年度予算額	28年度決算額	増減(▲)	摘要
現職会員費	720,000	701,000	▲ 19,000	701名×1,000円
年会費	32,000	29,000	▲ 3,000	年次会員29名
繰越金	153,981	153,981	0	
繰入金	140,000	140,000	0	前納会計から
補助	0	0	0	
雑収入	119	63	▲ 56	利子
合計	1,046,100	1,024,044	▲ 22,056	

項目	28年度予算額	28年度決算額	増減(▲)	摘要
事務費	110,000	47,630	▲ 62,370	コピー代、用紙、封筒
事業費	442,000	409,498	▲ 32,502	会報、広告代、地域貢献
会議費	250,000	186,136	▲ 63,864	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	180,626	626	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	11,340	▲ 38,660	各種会費等振込手数料
雑費	5,000	432	▲ 4,568	
予備費	9,100	0	▲ 9,100	
合計	1,046,100	835,662	▲ 210,438	

収支決算	収入	支出	残高
	1,024,044	835,662	188,382

平成28年度 前納会計決算書

〈収支状況〉		〈残高明細〉	
前年度残高	2,629,703	種類	
H28年度納入額	80,000	普通預金 1	2,104,366
利子収入	234	普通預金 2	465,571
一般会計へ	140,000	合計	2,569,937
合計	2,569,937		

平成29年度 一般会計予算書(案)

項目	28年度予算額	29年度予算額	増減(▲)	摘要
現職会員費	720,000	700,000	▲ 20,000	700名×1,000円
年会費	32,000	33,000	1,000	年次会員33名
繰越金	153,981	188,382	34,401	
繰入金	140,000	140,000	0	前納会計から
補助	0	0	0	
雑収入	119	100	▲ 19	利子等
合計	1,046,100	1,061,482	15,382	

項目	28年度予算額	29年度予算額	増減(▲)	摘要
事務費	110,000	110,000	0	コピー代、用紙、封筒
事業費	442,000	445,000	3,000	会報、広告代
会議費	250,000	250,000	0	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	200,000	20,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	30,000	▲ 20,000	各種会費等振込手数料
雑費	5,000	5,000	0	
予備費	9,100	21,482	12,382	
合計	1,046,100	1,061,482	15,382	

平成29年度 前納会計予算書(案)

〈収支状況〉	
前年度残高	2,569,937
H29年度納入額	150,000
一般会計へ	140,000
合計	2,579,937

附属函館小	白尻中	尾札部中	恵山小	桔梗中	大船小	白尻小	磨光小	えさん小	日新小	東山小	神山小	亀田小	北昭小	中の沢小	桔梗小	上湯川小	湯川小	北日吉小	日吉が丘小	金堀小	千代田小	高盛小	八幡小	北星小	学校名			
石崎	真田	近藤	駒木	中埜	外崎	坂本	今井	田中	澁谷	河野	一戸	須藤	奥田	榊口	谷部	磯井	永合	西田	藤田	宮森	長谷川	沢田	奥村	松野	菅野	長谷川	転入会員	
H19	H15	H7	S58	S62	H18	H元	S60	S元	S58	S58	S58	S63	S61	S58	S62	S58	H10	S60	S62	H20	H3	S60	S59	S60	S56	H15	S58	卒年

● 転入会員

桔梗小	石崎小	東尾小	亀岡小	旭湯小	上湯小	高丘小	湯川小	北日吉小	日吉が丘小	深堀小	駒場小	金堀小	柏野小	千代田小	中島小	千代ヶ岱小	高盛小	港盛小	万年橋小	八幡小	北星小	中の沢小	あさひ小	青柳小	弥生小	馬場一徳	学校名
川村	佐藤	池田	米坂	安部	土田	山本	榊本	若林	船橋	小野寺	水野	奥野	八重樫	竹内	櫻田	松浦	田中	熊倉	藤原	有我	青木	奥田	福井	中山	馬場	学校幹事	
20	3	5	4	8	7	7	10	9	15	12	13	9	11	9	5	6	9	12	10	8	6	8	9	8	8	会員数	

● 各学校幹事

本通中	赤川中	柏野小	学校名
大山修一	藤原涼太郎	八重樫大輔	新会員
H25	H29	H27	卒年

● 新採用会員

五稜郭中	亀田中	桔梗中	赤川中	銭亀沢中	鱒川小	旭岡中	戸倉中	湯川中	深堀中	的場中	光成中	港雲中	凌雲中	宇賀の浦中	潮見中	西山中	大船小	白尻小	磨光小	榎法華小	えさん小	日新小	戸井西小	南本通小	本通小	東山小	神山小	鍛神小	北美原小	中川小	赤川小	亀田小	昭和小	北昭和小	中の沢小
千伊藤	葉藤	金野	岸野	荒木	星澤	山口	山田	猪股	種市	丹野	塚野	葛西	赤坂	山家	横山	高橋	今井	小山内	木村	山田	奥平	寫谷	日景	今井	福島	須藤	市川	明戸	高谷	吉山	藤田	小林	北昭和	中の沢	
19	21	14	11	4	8	7	9	9	10	16	6	7	9	7	8	5	5	5	9	4	6	4	5	6	10	11	11	10	17	15	6	14	16	9	7



○部長

会計部	広報部	庶務部	総務部	分掌
○近江渡辺直美	○勝海管野博・古谷賢一	○水野阿部周一・筑田美穂子	○近江辰仁・佐山秀一	氏名

● 支部事務局体制(駒場小学校)

教育委員会	教育大学	附属函館中	附属函館小	附属函館幼	はこだて幼稚園	白尻中	尾札部中	榎法華中	恵山中	日新中	潮光中	北星中	本通中
中山央	松浦俊彦	高井太郎	鎌田尚吾	藤谷貴代	戸澤裕美枝	番場大志	伊藤川	斎藤丸大	石丸克範	貞吉里緒	久友紀子	小林元貴	菊地友佳子
7	6	10	15	2	1	6	5	3	4	6	4	11	19

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と称する。(夕陽会函館市支部と略称する。)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ると共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

- 一、総会
二、懇親会
三、会員の慶弔に関すること
四、支部会報の発行
五、教育研究諸会合
六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもって会員とする。

- 一、北海道函館師範学校卒業生
二、北海道第二師範学校卒業生
三、北海道学芸大学函館分校卒業生及び修了生
四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生
五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生
六、母校に在学した者(講習科、養成所も含む)

第六条 この会の役員は次のように定める。

- 一、役員
(一) 支部長 一名
(二) 副支部長 二名
(三) 幹事長 一名
(四) 副幹事長 若干名
(五) 幹事 若干名

(六) 監査委員 若干名
二、選出方法

(一) 支部長、監査委員は選考委員により選考し、総会の承認を求めらる。

(二) 副支部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求めらる。

(三) 幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

三、任務

(一) 支部長は、支部を代表し会務を統理する。

(二) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

(三) 幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

(四) 副幹事長は、幹事長を補佐する。

(五) 幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

(六) 監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

四、任期
(一) 支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

(二) 幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

(三) 欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

(四) 再任は妨げない。

一、総会
(一) 定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

(二) 臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

二、幹事会
必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

第九条 この会の収入は、次の通りとする。

一、会費
(一) 通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

(二) 前納会費は、別途規定を設ける。

二、寄附金
三、事業による収益金
四、その他

第十条 この会の支出は、次の通りとする。

一、会議その他事業費一般
二、懇親会その他会合費
三、慶弔費
(一) 会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二) 会員の受賞、栄進等は祝電
(三) 会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電
(四) その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

第十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

付則

- 平成五年四月十七日 改正
平成九年四月十九日 改正
平成十三年四月二十一日改正
平成十八年四月十五日 改正
平成二十九年四月八日 改正

支部受賞祝賀会・会員懇親会のお知らせ

日時：来春 二月一六日(金) 午後六時三〇分より

会場：フォーポイントバイシエラトン函館 ※支部最大の行事です。たくさん参加者で大いに盛り上げていただければ幸いです。

事務局だより

◇ 函館市支部会報九二号ができましたのでお届けいたします。本会報の発行に際し、ご多用にもかかわらず、原稿依頼に際し快くお引き受けくださった方々に感謝申し上げます。

◇ 去る五月一日(木)、「新会員・転入会員・幹事懇親会」をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。夕陽会会長藤川様によるご祝辞、伊藤顧問による祝杯で懇親会が始まりました。

◇ 各学校幹事の皆様へ
今年度の各学校の会員名簿作成、本部総会・大懇親会の参加者名簿の提出、会費・大懇親会費の納入、本部会報の配布等、ご協力に感謝申し上げます。

◇ 来春二月一六日(金)、例年同様、支部の受賞祝賀会及び懇親会を予定しております。その節は、多くの会員の参加をよろしく願っています。

◇ 来春六月二三日(土)は夕陽会百周年記念式典・祝賀会が開催されます。多くの会員の参加をお願いします。会員の慶弔がございましたら、事務局の近江まで一報ください。

夕陽会函館市支部 事務局
〒042-0935 函館市駒場町一番六号
電話番号(011-8)521-2364
FAX番号(011-8)521-2365